



# こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0132号 2021年2月24日  
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1F  
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp  
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」  
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

## 「苦しいとき」「困ってるとき」 声をあげられる社会を！

— 労働組合が求められています —

### 各支部、工夫をして

コロナ禍の中、CU東京各支部は、労働組合として工夫して取り組みを行っています。

#### 渋谷支部では (写真上)

労働組合を一人でも多くの仲間に知らせようと、渋谷支部では、2月13日、地域に1200枚のCU東京の加入チラシを6人で配布しました。



#### 文京支部では (写真下)

文京支部では、頼りにされる労働組合になろうと、困っている人を直接支援する文京社保協が行う「なんでも相談会」で、労働相談を受けています。定期的に駅頭宣伝も行い働く仲間に労働組合の存在を知らせています。



## 〈CU東京〉春の学習・交流集会

2021年3月28日 (日) 13:00～ (お弁当あり)

ラパスホール 東京労働会館7階

講演

後藤道夫さん  
 (都留文科大学名誉教授)



当面の活動方針の提案 活動の交流

## 東京地評 春の組織拡大月間「出陣式」



2月18日、東京地評は春の組織拡大決起集会をラパスホールで開きました。4人が報告、その中で、地域から文京区労協として、CU文京の山田書記長が、地域から労働運動を変えていきたいと文京の共同の取り組み、老舗旅館の賃金未払い相談を報告しました。、フロアからCU本部の高木書記長がコロナ禍で相談が増えていること、今、寄せられる相談に組合が協力して応え、前進をつくろうと発言しました。



東京地評では、3月から5月までを「春の組織拡大月間」として、各組織が、現勢の5%増・純増をめざして取り組むことにしています。今年の月間方針は「コロナ禍だからこそ 働く者は労働組合を必要としている！～雇用と生活を守る そのためにも大勢の労働者を組合に迎え入れよう！～」をスローガンに取り組むことを提起しています。

### 大会が開かれました

#### 足立支部

**一人で悩む労働者なくそう！  
組合員2倍化達成！**



#### みんなの力で100人の組合へ

12月22日、CUあだち第8回定期大会が開かれました。CUあだちはこの間、コロナ禍での解雇、雇い止めなどの労働相談・会社との交渉に積極的に取り組み、闘った争議は高水準の勝利解決と組合員の2倍化を達成したことが報告されました。

大会ではさらに悪化する雇用情勢のもと、雇用問題では労働組合の真価が問われる、労働相談体制を強化し、一人で困っている労働者をなくそう、一人でも加入できるCUあだ

ちの組合員を100名にしていこうとの運動方針を決定しました。

来賓としてCU東京の高木書記長、足立区労連から大滝議長、地域労組こうとうからは川村書記長が参加されました。

- 委員長 波平 永 (新)
- 副委員長 舘 幸雄 中島優次 (新)
- 書記長 高島章寿 (新)
- 書記次長 保坂達也
- 会計 飯塚美智子
- 執行委員 増子今朝男 平田 潤  
石神俊文 松館 寛 (新)  
宮本山起 (新)
- 会計監査 石川直美 松原豊子 (新)

### 各支部の奮闘

#### 品川支部

**品川区内の工場全員7名の組合員  
不当解雇事件、労働審判で解決**

品川区の工場従業員7人（正規5人、非正規2人）全員を突然解雇した事件。‘20年4月に相談を受け、組合に加入してもらい団交を2回行いました。組合は「整理解雇の四



要件に該当しない不当解雇である」と主張したが、会社が横柄な態度で団交を続けるため、CU東京本部の協力を得て、労働審判（裁判官と使用者側委員、労働者側委員の3人の合議で、3ヶ月3回の審判で解決をめざす。解決しないと本裁判に移行することになる）に訴えることにし、本部の紹介で東部法律事務所の3人の弁護士にお願いしました。

昨年から今年1月まで3回、東京地裁で労働審判が開催され、1、2回とも会社の回答は低額であり、3回目は決裂するのかと本裁判も覚悟したが、審判員らが「これは不当解雇である」との認識で会社に迫り、弁護士と組合員の粘り強い闘いで、予想した賃金の月数を越えたのと、組合員の「生活もある」との意見も取り入れ、やや不満であるが合意解決となりました。池野委員長、佐藤書記長も3回とも出席し、CUの地域こうとうの松井書記次長、本部の川村副委員長にも出席して戴き激励されました。皆さんご苦労様でした。

## 三多摩協議会

労働者の駆け込み寺としての役割を  
果たす決意 新春の集い



撮影のためマスクを一時的に外しました

組織拡大が目標を超過達成し、三多摩の組合員は、300名を突破することができ、みなさんに感謝します。コロナ終息の見通しが見えないなかで、労働者の雇用・くらはますます厳しいものになってきています。労働者の駆け込み寺としての私たちの役割は、大変大きなものがあります。組織拡大とともに、相談に来る労働者を仲間として受け入れ、問題を解決するための相談体制を強化するためにとりくみを強化します。

組織拡大では、女性の役員が大健闘をしました。このことが功を奏して、300名の組織を確立できました。早期に350名とするために引き続きがんばります。多数の組合員に支えられた組織と労働相談体制、団体交渉などの解決力を強化し、私たちを頼ってくる、コロナでこまっている人たちの期待に応えられる運動を作っていきます。

**「全国一律最低賃金制度の創設と東京で今すぐ時給1500円以上の実現を求める要請署名」**

**「最低賃金」署名を集めましょう**  
コロナ禍でも  
コロナ禍でなくたって  
私たちはフツーにくらしたい

そのために  
東京ではこれだけ必要です

**年収 290万円**  
**月額 24万6000円**  
**以上必要**

今こそ私たちは  
全国一律  
最低賃金1500円を  
求めます



## 訪問しました 東京私教連 できることを一緒に



11月27日、東京私教連へ、佐藤委員長、高木書記長、寺川副委員長が訪問。大橋副委員長、増田書記長と、懇談しました。互いに協力、共同できることを懇談しました。

私立校では、正規で働く教職員を減らし、非正規雇用の教職員を正規にしないことが多く、二人やめても、一人しか採用しない、現場の教職員はメンタルを病む人もふえ、教師を希望する学生が少なくなっている。コロナの中で家計が苦しく学費を3ヶ月以上滞納しているこどもが、240校へのアンケートで3割いることがわかりました。地域で一緒にできることを応援していきたいと話し合いました。

## 懇談しました 年金者組合都本部 組織を守る正念場 CU東京から学びたい

12月17日、年金者組合都本部杉山委員長、石塚副委員長、野口書記長が来所、佐藤委員長、高木書記長、寺川副委員長と懇談しました。

野口書記長は、女性の年金が男性よりも低いことに、自ら声を上げていきたいと、初の女性書記長になったと話されました。女性たちが頑張っている姿が見えるCU東京から学んで、労働者の皆さんに年金のことを知らせていくことで共闘したいと話し合いました。



撮影のため一時的にマスクを外しています

## 女性の2021年春闘 単産・地域学習・交流会

東京地評女性センターの2021年春闘単産・地域学習交流会が2月21日に開かれました。賃金の引上げ・底上げ、ジェンダー平等など私たちの要求を高く掲げる春闘です。東京法律事務所の青龍美和子弁護士から「同じ働き方なら同じ賃金は当たり前 ジェンダー平等 均等待遇の実現を」という内容でお話していただきました。



ユニオンちよだの鈴木真理さんが、フルーツ、ドリンク販売メーカーの(株)ドール(Dole)の事務職から埠頭倉庫の検査入力業務へ不当な配転、解雇問題について発言しました。地域からCU東京の組合員がたくさん参加しました。

←CU東京渋谷の皆さん



■森元総理の発言がヒドイ。その森氏を「余人を以て代えがたい」「引き続き相談役に」という。この様な人たちのことを「同じ穴のムジナ」というのではないかと。菅首相親子の「会食」もあきれ。同罪で辞任もの。■こうとうのはがきニュース、文京、渋谷、江戸川と届く。ユニオンちよだからはメルマガ、相談がびっしり、支部の奮闘が伝わる。「こみゅーと」は交代し半年、見やすくなったと激励を受けた。機関誌は組合活動の要。組合員の「声」を届けたい。■CU東京は2021年を1533人で迎えたことは先に伝えた。3月に学習・交流会議を予定。到達を共有し「働く人の権利」を守る活動を進めたい。後藤道夫さんを講師に学習する。今年、学習、交流の場広げよう。